



こんにちは

2025年
629
No.1099

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです！



参議院でも自民・公明を過半数割れに

参議院選挙が目前です。以前もお伝えしましたが、今度の選挙は“軍拡よりお米、暮らしを守ろう”と訴える大事な選挙です。安倍政権が道筋を付けた大軍拡計画を具体化してきたのがこれまでの自民党政権です。さらに加速させ、農業予算の4倍の軍事費を計上したのが石破政権。大量の武器を持っても食料がなければ国民の命も暮らしも守れません。

そして、物価高から暮らしを守るために私たちが主張しているのは、消費税の廃止を目指して緊急に5%にすることです。野党7党で提案したガソリン税の暫定税率の廃止も暮らしを守る大事な要素です。暫定税率が廃止になれば、2人以上の世帯で使うガソリン代（年間約7万円）が約1万円安くなると言います。ガソリン代にも消費税がかかるので、消費税減税でさらに負担軽減に!!

しかし21日には、ガソリン税の暫定税率廃止法案が事実上廃案となりました。「事実上」というのは、自民・公明党が数の力で、審議していた参議院財政金融委員会を採決もせず強制的

に終わらせたからです。

衆議院では自民・公明党は過半数割れをしています。参議院は過半数を持つ自民・公明党。国民の願いや声に蓋をする自民・公明党は、参議院でも過半数割れに追い込むことが必要だと、痛切に感じます。あわせて、自民・公明党に“すり寄る”野党も選ばないことが大切です。

ガソリン税の暫定税率は、1974年に本来のガソリン税に上乗せする形で導入されました。現在では、1リットル当たりの税率は25.1%ですが、上乗せされた結果53.8%になっています。目的は高速道路などを整備するという大型公共事業のためです。しかも「暫定」なのに、中止した時期も含め50年以上も経っています。

これまで、紙智子参議院議員が何度も「備蓄米を放出すべき」と言ってもやらなかったにもかかわらず、今回2千円台で備蓄米を放出したことについて、「なぜやれるんですか」と紙議員が聞くと、小泉進次郎氏は「政治判断だ」と言ったそうです。では、暫定税率も消費税減税も「政治判断」でやれるはず。やらないのは、国民のための政治をする気がないからではないでしょうか。

参議院選挙は、本気で「暮らしを守れ」と訴える日本共産党の出番の選挙です!!